

令和4年度 学生募集要項 入学案内



推薦による 選 抜	願 書 受 付 期 間	令和4年 1月 4日 (火) ～ 1月 7日 (金)
	面 接 日	令和4年 1月19日 (水) 【追試験】令和4年 2月 5日 (土)
	合 格 発 表 日 時	令和4年 1月25日 (火) 午前10時 【追試験】令和4年 2月 8日 (火) 午前10時
	入学確約書提出期限	令和4年 2月 1日 (火) 【追試験】令和4年 2月10日 (木)
学 力 検 査 に よ る 選 抜 帰 国 生 徒 特 別 選 抜	願 書 受 付 期 間	令和4年 1月26日 (水) ～ 2月 1日 (火)
	学 力 検 査 日	令和4年 2月13日 (日) 【追試験】令和4年 2月27日 (日)
	合 格 発 表 日 時	令和4年 3月 3日 (木) 午前10時 【追試験】令和4年 3月 3日 (木) 午前10時
入 学 手 続 日	第 1 回	令和4年 3月 9日 (水)
	第 2 回	令和4年 3月18日 (金)

新型コロナウイルスの感染状況により、学生募集要項の内容に変更が生じる場合があります。その際は本校ホームページ (<https://www.yonago-k.ac.jp/>) にてご確認くださいませようよろしくお願いいたします。

独立行政法人 国立高等専門学校機構
米子工業高等専門学校
National Institute of Technology (KOSEN), Yonago College

学生課教務係

〒683-8502 鳥取県米子市彦名町4448
電 話 0859-24-5022
FAX 0859-24-5029
ホームページ <https://www.yonago-k.ac.jp/>

目 次

学 生 募 集 要 項

I	アドミッションポリシー	1
II	募集人員	1
III	選抜方法	2
IV	日 程 表	2
V	推薦による選抜	
1	出願資格	2～3
2	願書受付	3
3	出願手続	3～5
4	学習成績分布表の提出	5
5	受験上特別な配慮を必要とする入学志願者の事前相談について	5
6	選抜の実施方法	5～6
7	合格者の発表	6
8	入学確約書の提出	6
9	学力検査による選抜または帰国生徒特別選抜の受験	6
10	入学手続	6
VI	学力検査による選抜	
1	出願資格	7
2	願書受付	7
3	出願手続	7～9
4	学習成績分布表の提出	9
5	受験上特別な配慮を必要とする入学志願者の事前相談について	9～10
6	選抜の実施方法	10～11
7	判定方法	11
8	合格者及び補欠者の発表	11
9	入学手続	12
10	繰上合格	12
VII	帰国生徒特別選抜	
1	出願資格	12
2	願書受付	12
3	出願手続	12～14
4	学習成績分布表の提出	15
5	受験上特別な配慮を必要とする入学志願者の事前相談について	15
6	選抜の実施方法	15
7	合格者の発表	15～16
8	入学手続	16
VIII	個人情報保護について	16
IX	検査場案内	17

入 学 案 内

1	本校概要	18
2	本校の目的	18
3	本校の教育目標など	18～19
4	コース概要	19～20
5	入学に伴う学費等	20～21
6	奨学金制度	21
7	入学料免除制度	21
8	学生寮	21
	検定料を郵便局（ゆうちょ銀行）から振り込む場合の注意点	22

出 願 書 類 等

この募集要項の巻末に、出願に必要な次の書類を添付しています。

- | | | |
|--------------------------------------|--------------|-------|
| ○ 入学願書・受験票・写真票 | ○ 振込受付証明書提出票 | |
| ○ 返信用あて名票 | ○ 入学検定料振込依頼書 | ○ 推薦書 |
| ○ 入学志願者調査書 | ○ 調査書記入要領 | |
| ○ 送り状（推薦による選抜用・学力検査による選抜用・帰国生徒特別選抜用） | | |
| ○ 事前相談について | ○ 海外在住状況説明書 | |

学生募集要項

I アドミッションポリシー

本校の入学者に期待される人間像は、次のとおりです。

- ・ものづくりに関心があり、基礎学力を持った人
- ・自ら見つけた目標を達成するために挑戦していける人
- ・文化や自然環境を大切にする人

II 募 集 人 員

学 科	入学定員	推薦による選抜	帰国生徒特別選抜
総合工学科	200名	入学定員の50%程度とします。	若干名とします。

【総合工学科について】

米子高専では、令和3年度からこれまでの5学科体制（機械工学科、電気情報工学科、電子制御工学科、物質工学科、建築学科）を「総合工学科」の1学科体制に変更しました。

「入学案内」（p.18以降）で詳しく述べていますが、「総合工学科」では、機械システム、電気電子、情報システム、化学・バイオ、建築デザインの各工学分野の専門的な知識や技術に加え、各分野に共通する基礎知識と技術、語学力、コミュニケーション能力、一般教養を身に付けるとともに分野横断的な融合・複合能力を育む教育を行います。大きな特徴として、第2学年前期までの1年半は、全学生共通の実践的教養科目と専門基礎科目を学習し、専門教育（コース）への興味・関心を高め、自身の適性を考えるための共通教育期間、第2学年後期からは社会や地域で求められる技術者を考慮して、機械システムコース、電気電子コース、情報システムコース、化学・バイオコース、建築デザインコースの5つの専門コースに分化する専門工学教育期間となります（下図参照）。

総合工学科					
5 年	機械システム コース 40 名 程度	電気電子 コース 40 名 程度	情報システム コース 40 名 程度	化学・バイオ コース 40 名 程度	建築デザイン コース 40 名 程度
4 年					
3 年					
2 年					
1 年	実践的教養教育 専門基礎教育				
入試	一括（大括り）入試 定員 200 名				

第2学年後期から配属される専門コースは、1年間じっくり勉強しながら、複数回にわたる志望調査と面談を経て決定します。各専門コースの授業を担当する教員からアドバイスを受けることもでき、自分に合った専門コースを考えることができます。

各専門コースに配属できる人数には限りがあるため、1年次の学業成績の上位者から、本人の志望順に従って、配属可能人数に達していない専門コースに配属します。そのため、本人の学業成績や他の学生の志望状況によっては、第一志望等上位で志望する専門コースに配属されない場合があります。

Ⅲ 選 抜 方 法

入学者の選抜は、「推薦による選抜」、「学力検査による選抜」及び「帰国生徒特別選抜」の三つの方法で実施します。

Ⅳ 日 程 表

推薦による選抜	願 書 受 付 期 間	令和4年 1月 4日(火)～1月 7日(金)
	面 接 日	令和4年 1月19日(水) 【追試験】令和4年 2月 5日(土)
	合 格 発 表 日 時	令和4年 1月25日(火) 午前10時 【追試験】令和4年 2月 8日(火) 午前10時
	入学確約書提出期限	令和4年 2月 1日(火) 【追試験】令和4年 2月10日(木)
学 力 検 査 に よ る 選 抜 帰 国 生 徒 特 別 選 抜	願 書 受 付 期 間	令和4年 1月26日(水)～2月 1日(火)
	学 力 検 査 日	令和4年 2月13日(日) 【追試験】令和4年 2月27日(日)
	合 格 発 表 日 時	令和4年 3月 3日(木) 午前10時 【追試験】令和4年 3月 3日(木) 午前10時
入 学 手 続 日	第 1 回	令和4年 3月 9日(水)
	第 2 回	令和4年 3月18日(金)

新型コロナウイルスの感染状況により、学生募集要項の内容に変更が生じる場合があります。その際は本校ホームページ (<https://www.yonago-k.ac.jp/>) にてご確認くださいようよろしく願いいたします。

Ⅴ 推薦による選抜

1 出願資格

推薦による選抜に出願できる者は、次の各条件に該当し、在籍学校長が責任をもって推薦できる者としてします。

(1) 次のいずれかに該当する者

- ① 令和4年3月に中学校卒業見込みの者
- ② 令和4年3月に義務教育学校卒業見込みの者
- ③ 令和4年3月に中等教育学校前期課程修了見込みの者
- ④ 文部科学大臣が中学校の課程と同等課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を令和4年3月に修了見込みの者

(2) 本校入学の意思が特に強固な者

(3) 人物優秀である者

(4) 在籍学校における第3学年(最終学年)の「学習の記録」の評定が、5段階評定(1学期から2学期^(注)までの総合した評定)で5教科(国語、社会、数学、理科、外国語)評定合

計が20以上の者または9教科評定合計が36以上の者

(注) 2学期制の中学校等にあつては12月末

2 願書受付

(1) 受付期間	令和4年 1月 4日(火) から 1月 7日(金) まで (郵送の場合も1月7日(金)の午後4時までに必着のこと。)
(2) 受付時間	午前9時から午後4時まで
(3) 受付場所	米子工業高等専門学校 学生課教務係 〒683-8502 鳥取県米子市彦名町4-4-8

3 出願手続

(1) 出願に必要な書類

志願者は、次の①から④及び⑦の出願書類を在籍学校長に提出してください。

⑧の出願書類は、該当者のみ~~在籍~~学校長に提出してください。

在籍学校長は、志願者の出願書類を取りまとめのうえ、⑤及び⑥の書類を作成し、本校所定の「送り状 推薦による選抜用」を添えて提出してください。

① 入 学 願 書	本校所定の用紙に、必要事項を記入してください。
② 受 験 票	
③ 写 真 票	
④ 振込受付証明書 提出票	入学検定料は、16,500円です。 振込受付期間 令和3年12月3日(金)～令和4年1月7日(金) 銀行からの振込みの場合 ・本校所定の入学検定料振込依頼書により、志願者本人の名義で金融機関(銀行)の窓口から振り込んでください。ATM(現金自動預払機)、インターネットバンキングからの振込みはしないでください。 ・取扱金融機関収納印を押した振込受付証明書を必ず受け取り、振込受付証明書提出票の所定の位置に貼り付けてください。 郵便局(ゆうちょ銀行)からの振込みの場合 ・ATM(現金自動預払機)、インターネットバンキングからの振込みはしないでください。 ・ゆうちょ銀行からの振込みは、募集要項に添付されている本校所定の振込依頼書を使用することは出来ません。添付の「検定料を郵便局(ゆうちょ銀行)から振り込む場合の注意点」を参照のうえ、窓口で「ゆうちょ銀行専用の振込依頼書」を受け取り、志願者本人の名義で次のとおり振り込んでください。

	金融機関名： 山陰合同銀行 米子支店 預金種目： 普通 口座番号： 3658000 受取人フリガナ： ドク) コクリツコウトウセンモンガッコウキコウ ホンブスイトウメイレイヤクジムキョクチョウ 受取人なまえ： 独立行政法人国立高等専門学校機構本部 出納命令役事務局長 ・振込後は「振込依頼書（兼振替払出請求書〔電信扱い〕（お客さま控）」を受領し、「振込受付証明書提出票」に貼って提出してください。（お客様控が必要な場合は、コピーをお手元に保管ください。） ※いずれの振込みも、振込時に必要な手数料は志願者本人の負担となります。 検定料の免除について ・令和3年度に、災害救助法の適用を受ける災害に被災し、居住する家屋が被害を受けた場合に、申請により検定料の免除を行える場合があります。該当される方は、<u>検定料を振込む前に</u>学生課教務係（Tel0859-24-5022）までお問い合わせください。
⑤ 推 薦 書	本校所定の用紙に、在籍学校長が作成してください。
⑥ 調 査 書	
⑦ 返信用あて名票	本校所定の用紙に、志願者の在籍学校名・氏名を記入してください。
⑧ 海外在住状況説明書 （該当者のみ）	<u>推薦選抜を不合格となった場合に帰国生徒特別選抜の受験を希望する者のみ</u> 本校所定の用紙に、必要事項を記入してください。

（２）出願上の留意事項

- ① 郵送での出願は、必ず「簡易書留郵便」とし、封筒の表に「出願書類在中」と朱書きしてください。
- ② 必要事項の未記入など不備のある出願書類は受け付けません。記載事項を訂正する場合は、訂正箇所を二重線で抹消し、押印のうえ、訂正事項を記入してください。
- ③ 願書提出後は、記載事項の変更を認めません。また、受理した出願書類は返還しません。
- ④ 出願書類の記載事項と相違の事実が判明した場合は、入学後であっても入学許可を取り消すことがあります。
- ⑤ 受理した検定料は次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。
 - ・ 検定料を払い込んだが、出願しなかった場合
 - ・ 検定料を誤って二重に振り込んだ場合

＊ 返還請求手続は、令和4年1月21日（金）までに次の方法で行ってください。

返還請求の方法

①返還請求の理由、②氏名（ふりがな）、③現住所、④連絡先電話番号、⑤返還先の口座の金融機関名、支店名、預金種別、口座番号、口座名義（フリガナ）及び口座名義人と志願者本人との続柄を明記した検定料返還請求願（様式は問わない）を作成し、必ず振込金領収書（ゆうちょ銀行からの振込みの場合は、通帳のコピー）を添付して、次の送付先へ郵送してください。返還には、検定料返還請求願を受理した後、約2ヶ月程度の期間を要します。なお、返還に係る振込手数料は請求者の負担となります。

送付先 〒683-8502 鳥取県米子市彦名町4448
米子工業高等専門学校 総務課財務係

（3）受験票の送付について

受験票は、出願書類受理後、令和4年1月11日（火）以降に在籍学校長宛に送付します。受験票が1月14日（金）に届いていない場合は、学生課教務係（0859-24-5022）へ連絡してください。

4 学習成績分布表の提出

在籍学校長は、次の書類を令和4年2月28日（月）までに、学生課教務係へ提出してください。

学習成績分布表	令和4年度公立高等学校入学者選抜実施要項（鳥取県の場合は様式第3号）に準じて、在籍学校長が作成してください。
---------	--

* 提出にあたっては、本校ホームページ「入学案内」に掲載している様式を使用しても構いません。

5 受験上特別な配慮を必要とする入学志願者の事前相談について

障がいがある者等、受験上特別な配慮を必要とする者は、令和3年12月3日（金）までに「事前相談について」（添付の様式参照）を、米子工業高等専門学校学生課教務係へ提出し、相談してください。

なお、本校が必要と認める場合には、本校において、志願者またはその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談等を行います。

6 選抜の実施方法

（1）推薦による選抜は、面接、在籍学校長から提出された調査書及び推薦書を総合して判定します。

（2）選抜検査日時等

令和4年1月19日（水）	諸 説 明	別途連絡
	面 接	

* 検査当日は、別途連絡する時間までに米子工業高等専門学校に集合してください。（上履きは必要ありません。）

* 受験票を必ず持参してください。

(3) 追試験

新型コロナウイルス等による感染症に罹患し、又はその疑いがあり、令和4年1月19日(水)に実施する推薦選抜を受験することができなかった受験生は、令和4年2月5日(土)に実施する追試験を受験することができます。

追試験の申請方法等詳細については、該当者へ連絡いたします。

7 合格者の発表

令和4年1月25日(火)午前10時(追試験受験者は令和4年2月8日(火))に、合格者の受験番号を本校で掲示発表するとともに、可否通知を在籍学校長宛に郵送します。(電話での問い合わせには応じません。)

また、本校ホームページ(<https://www.yonago-k.ac.jp/>)にも、令和4年1月25日(火)から2月1日(火)まで(追試験受験者は令和4年2月8日(火)から2月15日(火)まで)、合格者の受験番号を掲載します。

8 入学確約書の提出

合格者は、令和4年2月1日(火)(追試験受験者は令和4年2月10日(木))までに「入学確約書(合格通知に同封します。)」を、在籍学校長を経て提出してください。提出がない場合は、は、本校への入学の意志がなく、入学を辞退したものととして取り扱います。

9 学力検査による選抜または帰国生徒特別選抜の受験

推薦による選抜の結果、不合格となった者で、あらかじめ入学願書の「推薦による選抜で不合格となった場合、学力検査による選抜または帰国生徒特別選抜の受験希望の有無」欄を「有」とした者は、学力検査による選抜または帰国生徒特別選抜を受けることができます。

なお、この場合、出願書類等の再提出及び入学検定料の振込みは必要ありません。推薦による選抜の際に使用した受験票を持参のうえ、各受験地にて受験してください。

在籍学校長は、本校所定の「送り状 学力選抜用」または「送り状 帰国生徒特別選抜用」に必要事項を記入のうえ、各選抜の受付期間内に他の志願者の出願書類と一緒に提出してください。他に各選抜の志願者がいない場合は「送り状」に推薦選抜不合格後の受験者のみを記入して提出してください。

10 入学手続

合格者は、令和4年3月9日(水)の午後、本校で入学手続を行ってください。(詳細については、別途通知します。)

VI 学力検査による選抜

1 出願資格

学力検査による選抜に出願できる者は、次のいずれかに該当する者としてします。

- (1) 中学校を卒業した者（令和4年3月卒業見込みの者を含む）
- (2) 義務教育学校を卒業した者（令和4年3月卒業見込みの者を含む）
- (3) 中等教育学校前期課程を修了した者（令和4年3月修了見込みの者を含む）
- (4) 外国において、学校教育における9年の課程を修了した者（令和4年3月修了見込みの者を含む）
- (5) 文部科学大臣が中学校の課程と同等課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者（令和4年3月修了見込みの者を含む）
- (6) 文部科学大臣の指定した者
- (7) 就学義務猶予免除者等の中学校卒業程度認定規則により、中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認定された者
- (8) その他、本校において中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

2 願書受付

(1) 受付期間	令和4年1月26日（水）から2月1日（火）まで（土日は除く） （郵送の場合も2月1日（火）の午後4時までに必着のこと。）
(2) 受付時間	午前9時から午後4時まで
(3) 受付場所	米子工業高等専門学校 学生課教務係 〒683-8502 鳥取県米子市彦名町4-4-8

3 出願手続

(1) 出願に必要な書類

志願者は、次の①から④及び⑥の出願書類を在籍（出身）学校長に提出してください。

在籍（出身）学校長は、志願者の出願書類を取りまとめのうえ、⑤の書類を作成し、本校所定の「送り状 学力検査による選抜用」を添えて提出してください。

ただし、前記「1 出願資格（4）～（8）」に該当する者は、出願書類を一括して直接提出してください。

① 入 学 願 書	本校所定の用紙に、必要事項を記入してください。
② 受 験 票	
③ 写 真 票	
④ 振込受付証明書 提出票	入学検定料は、16,500 円です。 振込受付期間 令和4年1月11日（火）～ 令和4年2月1日（火） 銀行からの振込みの場合 ・本校所定の入学検定料振込依頼書により、志願者本人の名義で金融

	機関（銀行）の窓口から振り込んでください。ATM（現金自動預払機）、インターネットバンキングからの振込みはしないでください。 ・取扱金融機関収納印を押した振込受付証明書を必ず受け取り、振込受付証明書提出票の所定の位置に貼り付けてください。 郵便局（ゆうちょ銀行）からの振込みの場合 ・ATM（現金自動預払機）、インターネットバンキングからの振込みはしないでください。 ・ゆうちょ銀行からの振込みは、募集要項に添付されている本校所定の振込依頼書を使用することは出来ません。添付の「検定料を郵便局（ゆうちょ銀行）から振り込む場合の注意点」を参照のうえ、窓口で「ゆうちょ銀行専用の振込依頼書」を受け取り、志願者本人の名義で次のとおり振り込んでください。 金融機関名： 山陰合同銀行 米子支店 預金種目： 普通 口座番号： 3658000 受取人フリガナ： ドク) コクリツコウトウセンモンガッコウキコウ ホンプスイトウメイレイヤクジムキョクチョウ 受取人なまえ： 独立行政法人国立高等専門学校機構本部 出納命令役事務局長 ・振込後は「振込依頼書（兼振替払出請求書〔電信扱い〕（お客さま控）」を受領し、「振込受付証明書提出票」に貼って提出してください。（お客様控が必要な場合は、コピーをお手元に保管ください。） ※いずれの振込みも、振込時に必要な手数料は志願者本人の負担となります。 検定料の免除について ・令和3年度に、災害救助法の適用を受ける災害に被災し、居住する家屋が被害を受けた場合に、申請により検定料の免除を行える場合があります。該当される方は、<u>検定料を振込む前に</u>学生課教務係（TEL0859-24-5022）までお問い合わせください。
⑤ 調 査 書	本校所定の用紙に在籍（出身）学校長が作成してください。 ただし、前記「1 出願資格（4）～（8）」に該当する者は、履修証明書または成績証明書に代えることができます。
⑥ 返信用あて名票	本校所定の用紙に、志願者の在籍（出身）学校名・氏名を記入してください。

（2）出願上の留意事項

- ① 郵送での出願は、必ず「簡易書留郵便」とし、封筒の表に「出願書類在中」と朱書きしてください。
- ② 必要事項の未記入など不備のある出願書類は受け付けません。記載事項を訂正する場合

は、訂正箇所を二重線で抹消し、押印のうえ、訂正事項を記入してください。

- ③ 願書提出後は、記載事項の変更を認めません。また、受理した出願書類は返還しません。
- ④ 出願書類の記載事項と相違の事実が判明した場合は、入学後であっても入学許可を取り消すことがあります。
- ⑤ 受理した検定料は次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。
- ・ 検定料を払い込んだが、出願しなかった場合
 - ・ 検定料を誤って二重に振り込んだ場合

＊ 返還請求手続は、令和4年2月17日（木）までに次の方法で行ってください。

返還請求の方法

①返還請求の理由、②氏名（ふりがな）、③現住所、④連絡先電話番号、⑤返還先の口座の金融機関名、支店名、預金種別、口座番号、口座名義（フリガナ）及び口座名義人と志願者本人との続柄を明記した検定料返還請求願（様式は問わない）を作成し、必ず振込金領収書（ゆうちょ銀行からの振込みの場合は、通帳のコピー）を添付して、次の送付先へ郵送してください。返還には、検定料返還請求願を受理した後、約2ヶ月程度の期間を要します。なお、返還に係る振込手数料は請求者の負担となります。

送付先 〒683-8502 鳥取県米子市彦名町4448
米子工業高等専門学校 総務課財務係

（3）受験票の送付について

受験票は、出願書類受理後、令和4年2月2日（水）以降に在籍（出身）学校長宛に送付します。

ただし、前記「1 出願資格（4）～（8）」に該当する者には、直接本人宛に送付します。

受験票が2月8日（火）に届いていない場合は、学生課教務係（0859-24-5022）へ連絡してください。

4 学習成績分布表の提出

在籍（出身）学校長は、次の書類を令和4年2月28日（月）までに、学生課教務係へ提出してください。

学習成績分布表	令和4年度公立高等学校入学選抜実施要項（鳥取県の場合は様式第3号）に準じて、在籍（出身）学校長が作成してください。
---------	---

＊ 提出にあたっては、本校ホームページ「入学案内」に掲載している様式を使用しても構いません。

5 受験上特別な配慮を必要とする入学志願者の事前相談について

障がいがある者等、受験上特別な配慮を必要とする者は、令和4年1月7日（金）までに「事前相談について」（添付の様式参照）を、米子工業高等専門学校学生課教務係へ提出し、相談してください。

なお、本校が必要と認める場合には、本校において、志願者またはその立場を代弁し得る出

身学校関係者等との面談等を行います。

6 選抜の実施方法

- (1) 学力検査の出題教科は、理科、英語、数学、国語、社会の5教科です。
- (2) 解答はマークシート方式です。必ずHBの黒鉛筆を使用してください。
- (3) 学力検査日時等

期 日	時 間	教 科
令和4年2月13日(日)	9:30～10:20	理 科
	10:50～11:40	英 語
	12:10～13:00	数 学
	13:50～14:40	国 語
	15:10～16:00	社 会

＊ 検査当日は、午前9時までに「(4) 検査場」の該当する検査場に集合してください。

＊ 受験票及び筆記用具を必ず持参してください。

(4) 検査場

米 子 検 査 場	倉 吉 検 査 場	鳥 取 検 査 場	最 寄 り 地 等
米子工業高等専門学校 米子市彦名町 4448	鳥取県立 倉吉体育文化会館 倉吉市山根 529-2	とりぎん文化会館 (鳥取県立県民文化会館) 鳥取市尚徳町 101-5	詳細は下記のとおり

＊ 各検査場での上履きは必要ありません。

《最寄り地等受験について》

国立高等専門学校機構では、「学力検査による選抜」において、出願する高専に関係なく、全国にある51の国立高等専門学校とその他設置している会場のどこでも受験が可能な『最寄り地等受験制度』を導入しています。受験生は本校が設置する会場以外に、機構ホームページの『最寄り地等受験制度 会場一覧』から、受験したい会場を希望することができます。

ただし、会場の収容人数等の都合で必ずしも希望に添えないこともありますので、希望する受験生は、本校まで、必ず事前の相談をお願いします（本校が設置する会場（米子・倉吉・鳥取）の場合は、事前相談は不要です）。

【事前相談問い合わせ先】

窓 口：米子工業高等専門学校学生課教務係

電 話：0859-24-5022

相談期間：令和3年11月1日（月）～12月6日（月）

最寄り地等受験制度 会場一覧掲載先（機構ホームページ）

<https://www.kosen-k.go.jp/exam/admissions/index.html>

本校の「主たる受験地」：米子検査場、倉吉検査場、鳥取検査場



（機構ホームページ）

※希望する会場の受入可否については、令和3年12月15日（水）までにお知らせいたします。

※「推薦による選抜」、「帰国生徒特別選抜」は、本制度の対象外です。

※事前相談期間締切後については、原則受け付けません。

（5）追試験

新型コロナウイルス等による感染症に罹患し、又はその疑いがあり、令和4年2月13日（日）に実施する学力検査による選抜を受験することができなかった受験生は、令和4年2月27日（日）に実施する追試験を受験することができます。

※追試験の場合も合格発表日時の変更はありません。

※会場の都合上、追試験は米子検査場でのみ行います。

※追試験の申請方法等詳細については、該当者へ連絡いたします。

7 判定方法

学力検査による選抜は、学力検査及び在籍（出身）学校長から提出された調査書を総合して判定します。（※ 判定に用いる9教科評定は、第3学年（最終学年）の評定のみを用います。）

学力検査及び調査書の配点は次のとおりです。

学 力 検 査		学 習 記 録 評 定 （調査書）	
理 科	100点	国語、社会、数学、 理科、外国語、 音楽、美術、保健体育、 技術・家庭	各科目30点 (5段階評定×6倍)
英 語	100点		
数 学	100点		
国 語	100点		
社 会	100点		
合 計	500点	合 計	270点

8 合格者及び補欠者の発表

令和4年3月3日（木）午前10時に、合格者及び補欠者の受験番号を本校で掲示発表するとともに、結果通知（合格者、不合格者、補欠者）を在籍（出身）学校長宛に郵送します。

（電話での問い合わせには応じません。）

また、本校ホームページ（<https://www.yonago-k.ac.jp/>）にも令和4年3月3日（木）から3月10日（木）まで、合格者及び補欠者の受験番号を掲載します。

9 入学手続

合格者は、令和4年3月9日（水）の午後または3月18日（金）の午前に、本校で入学手続を行ってください。（詳細については、別途通知します。）

正当な理由なく入学手続を行わない場合、本校への入学を辞退したものとして取り扱います。

10 繰上合格

合格者の入学手続状況により、補欠者の中からあらかじめ定めた順序により繰上合格を行います。

なお、繰上合格者の入学手続については、別途通知します。

VII 帰国生徒特別選抜

1 出願資格

帰国生徒特別選抜に出願できる者は、日本国籍を有する者及び日本国の永住許可を得ている者で、保護者の海外勤務等に伴って外国において教育を受けた者（海外在学期間が中学校に相当する課程において通算2年以上の者で令和2年4月以降の帰国者）で次のいずれかに該当する者としします。

- (1) 中学校を卒業した者（令和4年3月卒業見込みの者を含む）
- (2) 義務教育学校を卒業した者（令和4年3月卒業見込みの者を含む）
- (3) 中等教育学校前期課程を修了した者（令和4年3月修了見込みの者を含む）
- (4) 外国において、学校教育における9年の課程を修了した者（令和4年3月修了見込みの者を含む）
- (5) 文部科学大臣が中学校の課程と同等課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者（令和4年3月修了見込みの者を含む）

※ 帰国生徒特別選抜に出願を希望する者は、出願資格等を確認しますので、必ず令和3年12月9日（木）までに学生課教務係（Tel 0859-24-5022・Eメール kyoumu@yonago-k.ac.jp）まで照会してください。

2 願書受付

(1) 受付期間	令和4年1月26日（水）から2月1日（火）まで（土日は除く） （郵送の場合も2月1日（火）の午後4時までに必着のこと。）
(2) 受付時間	午前9時から午後4時まで
(3) 受付場所	米子工業高等専門学校 学生課教務係 〒683-8502 鳥取県米子市彦名町4448

3 出願手続

(1) 出願に必要な書類

志願者は、次の①から④及び⑥から⑦の出願書類を在籍（出身）学校長に提出してください。

在籍（出身）学校長は、志願者の出願書類を取りまとめのうえ、⑤の書類を作成し、本校所定の「送り状 帰国生徒特別選抜用」を添えて提出してください。

ただし、前記「1 出願資格（４）～（５）」に該当する者は、出願書類を一括して直接提出してください。

① 入 学 願 書	本校所定の用紙に、必要事項を記入してください。
② 受 験 票	
③ 写 真 票	
④ 振込受付証明書 提出票	入学検定料は、16,500 円です。 振込受付期間 令和４年１月１１日（火）～ 令和４年２月１日（火） 銀行からの振込みの場合 ・本校所定の入学検定料振込依頼書により、志願者本人の名義で金融機関（銀行）の窓口から振り込んでください。ＡＴＭ（現金自動預払機）、インターネットバンキングからの振込みはしないでください。 ・取扱金融機関収納印を押した振込受付証明書を必ず受け取り、振込受付証明書提出票の所定の位置に貼り付けてください。 郵便局（ゆうちょ銀行）からの振込みの場合 ・ＡＴＭ（現金自動預払機）、インターネットバンキングからの振込みはしないでください。 ・ゆうちょ銀行からの振込みは、募集要項に添付されている本校所定の振込依頼書を使用することは出来ません。添付の「検定料を郵便局（ゆうちょ銀行）から振り込む場合の注意点」を参照のうえ、窓口で「ゆうちょ銀行専用の振込依頼書」を受け取り、志願者本人の名義で次のとおり振り込んでください。 金融機関名： 山陰合同銀行 米子支店 預金種目： 普通 口座番号： 3658000 受取人フリガナ： ドク) コクリツコウトウセンモンガッコウキコウ ホンブサイトウメイレイヤクジムキョクチョウ 受取人なまえ： 独立行政法人国立高等専門学校機構本部 出納命令役事務局長 ・振込後は「振込依頼書（兼振替払出請求書〔電信扱い〕（お客さま控）」を受領し、「振込受付証明書提出票」に貼って提出してください。（お客様控が必要な場合は、コピーをお手元に保管ください。） ※いずれの振込みも、振込時に必要な手数料は志願者本人の負担となります。 検定料の免除について ・令和３年度に、災害救助法の適用を受ける災害に被災し、居住する家屋が被害を受けた場合に、申請により検定料の免除を行える場合があります。該当される方は、<u>検定料を振込む前に</u>学生課教務係（TEL0859-24-5022）までお問い合わせください。

⑤ 調 査 書	本校所定の用紙に在籍（出身）学校長が作成してください。 ただし、前記「1 出願資格（4）」に該当する者（海外の現地校及び国際学校を修了した者及び修了見込みの者）は、当該学校が発行した成績証明書及び修了（見込）証明書を提出してください。成績証明書の各教科の評定は、100点法に換算したものを記載してください。不可能な場合は、100点法との対応表を添付してください。 ※各証明書には日本語訳を添付してください。
⑥ 海外在住状況説明書	本校所定の用紙に、必要事項を記入してください。
⑦ 返信用あて名票	本校所定の用紙に、志願者の在籍（出身）学校名・氏名を記入してください。

（2）出願上の留意事項

- ① 郵送での出願は、必ず「簡易書留郵便」とし、封筒の表に「出願書類在中」と朱書きしてください。
- ② 必要事項の未記入など不備のある出願書類は受け付けません。記載事項を訂正する場合は、訂正箇所を二重線で抹消し、押印のうえ、訂正事項を記入してください。
- ③ 願書提出後は、記載事項の変更を認めません。また、受理した出願書類は返還しません。
- ④ 出願書類の記載事項と相違の事実が判明した場合は、入学後であっても入学許可を取り消すことがあります。
- ⑤ 受理した検定料は次の場合を除き、いかなる理由があっても返還しません。
 - ・ 検定料を払い込んだが、出願しなかった場合
 - ・ 検定料を誤って二重に振り込んだ場合

* 返還請求手続は、令和4年2月17日（木）までに次の方法で行ってください。

返還請求の方法 ①返還請求の理由、②氏名（ふりがな）、③現住所、④連絡先電話番号、⑤返還先の口座の金融機関名、支店名、預金種別、口座番号、口座名義（フリガナ）及び口座名義人と志願者本人との続柄を明記した検定料返還請求願（様式は問わない）を作成し、必ず振込金領収書（ゆうちょ銀行からの振込みの場合は、通帳のコピー）を添付して、次の送付先へ郵送してください。返還には、検定料返還請求願を受理した後、約2ヶ月程度の期間を要します。 なお、返還に係る振込手数料は請求者の負担となります。 送付先 〒683-8502 鳥取県米子市彦名町4-4-8 米子工業高等専門学校 総務課財務係

（3）受験票の送付について

受験票は、出願書類受理後、令和4年2月2日（水）以降に在籍（出身）学校長宛に送付します。

ただし、前記「1 出願資格（4）～（5）」に該当する者には、直接本人宛に送付します。

4 学習成績分布表の提出

在籍（出身）学校長は、次の書類を令和4年2月28日（月）までに、学生課教務係へ提出してください。

ただし、前記「1 出願資格（4）」に該当する場合は、提出の必要はありません。

学習成績分布表	令和4年度公立高等学校入学者選抜実施要項（鳥取県の場合は様式第3号）に準じて、在籍（出身）学校長が作成してください。
---------	--

＊ 提出にあたっては、本校ホームページ「入学案内」に掲載している様式を使用しても構いません。

5 受験上特別な配慮を必要とする入学志願者の事前相談について

障がいがある者等、受験上特別な配慮を必要とする者は、令和4年1月7日（金）までに「事前相談について」（添付の様式参照）を、米子工業高等専門学校学生課教務係へ提出し、相談してください。

なお、本校が必要と認める場合には、本校において、志願者またはその立場を代弁し得る出身学校関係者等との面談等を行います。

6 選抜の実施方法

（1）帰国生徒特別選抜は、学力検査（理科、英語、数学の3教科各100点）、面接及び在籍（出身）学校長から提出された調査書（成績証明書）を総合して判定します。

（2）学力検査の解答はマークシート方式です。必ずHBの黒鉛筆を使用してください。

（3）選抜検査日時等

期 日	時 間	教 科
令和4年2月13日（日）	9：30～10：20	理 科
	10：50～11：40	英 語
	12：10～13：00	数 学
	13：50～14：00	諸 説 明
	14：05～	面 接

＊ 検査当日は、午前9時までに米子工業高等専門学校に集合してください。（上履きは必要ありません。）

＊ 受験票及び筆記用具を必ず持参してください。

（4）追試験

新型コロナウイルス等による感染症に罹患し、又はその疑いがあり、令和4年2月13日（日）に実施する帰国生徒特別選抜を受験することができなかった受験生は、令和年2月27日（日）に実施する追試験を受験することができます。

※追試験の場合も合格発表日時の変更はありません。

※追試験の申請方法等詳細については、該当者へ連絡いたします。

7 合格者の発表

令和4年3月3日（木）午前10時に、合格者の受験番号を本校で掲示発表するとともに、

合否通知を在籍（出身）学校長宛に郵送します。

ただし、「1 出願資格（４）～（５）」に該当する者には、直接本人宛に郵送します。
（電話での問い合わせには応じません。）

また、本校ホームページ（<https://www.yonago-k.ac.jp/>）にも令和４年３月３日（木）から３月１０日（木）まで、合格者の受験番号を掲載します。

8 入学手続

合格者は、令和４年３月９日（水）の午後または３月１８日（金）の午前に、本校で入学手続を行ってください。（詳細については、別途通知します。）

正当な理由なく入学手続を行わない場合、本校への入学を辞退したものとして取り扱います。

VII 個人情報保護について

入学志願者から提出された入学願書及び調査書等に記載されている情報並びに選抜に用いた検査成績・評価といった入学者選抜を通じて取得した個人情報は、入学者選抜の資料として利用するとともに、本校へ入学後は次の目的のためにも利用します。

- （１） 入学後の教育・指導
- （２） 入学料、授業料の免除申請の審査
- （３） 奨学金申請の審査
- （４） 本校及び国立高等専門学校全体の教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究

Ⅸ 検査場案内

米子検査場

米子駅から学校までの交通機関（約6km）

○米子駅からバス

（内浜線下蔵津行）中彦名下車徒歩8分

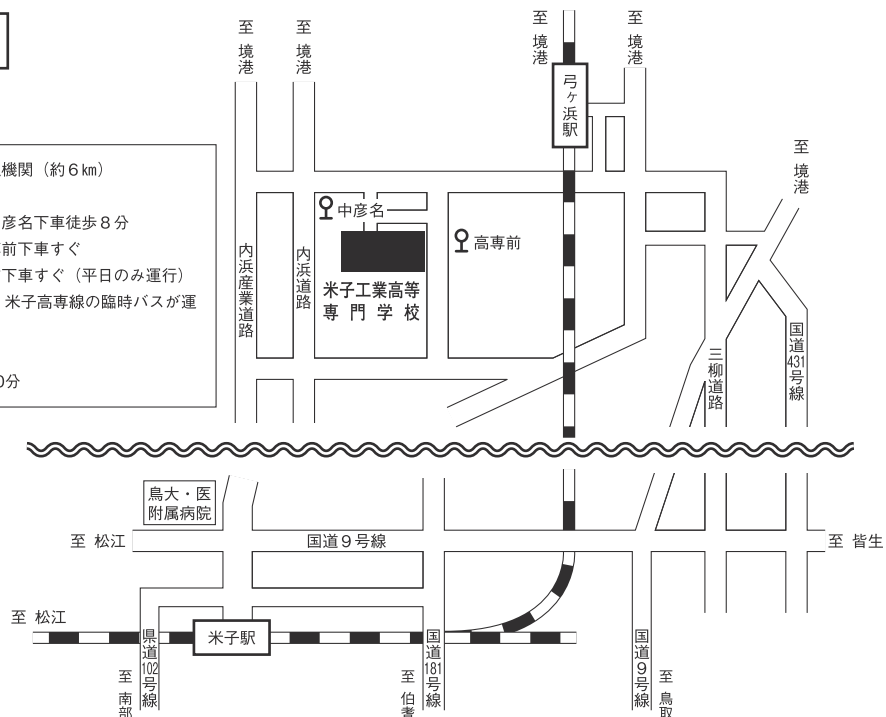
（内浜線高専行）高専前下車すぐ

（米子高専線）高専前下車すぐ（平日のみ運行）

※2月13日（日）は、米子高専線の臨時バスが運行されます

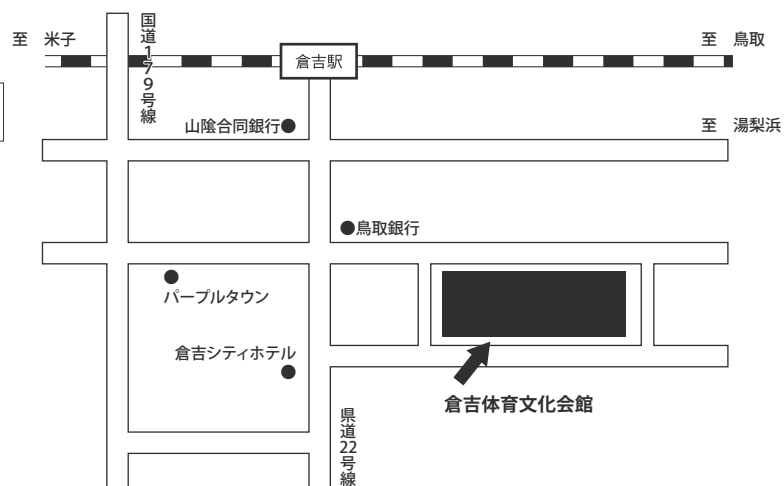
○JR（境線）

弓ヶ浜駅下車徒歩20分



倉吉検査場

JR山陰本線 倉吉駅下車 徒歩10分



鳥取検査場

○鳥取駅から徒歩20分

○鳥取駅からバス

鳥取バスターミナルから湖山・鳥大線、賀露線など「県庁日赤前」下車すぐ（乗車時間5分）



入 学 案 内

1 本校概要

本校は、昭和39年に創設された国内そして鳥取県を代表する国立の高等教育機関であり、全国51国立高専55キャンパス、学生総数5万人余、教職員6千人余の大規模な独立行政法人高等専門学校機構の一員として重要な役割を担っています。

15歳から始まる「本科課程」では、「5年間一貫教育」「くさび型教育」「実践的専門教育（実験実習設備充実）」を普遍の軸として、科学技術の高度化や複雑化、情報化、グローバル化に対応した教育イノベーションを行い、有為な人材を輩出しています。さらに、平成16年に設置された「専攻科課程（本科卒業後の2年間）」では、より専門的で高度なカリキュラム編成により、大学教育に相当する水準の教育を行っており、学位授与機構の審査に合格することで、4年制大学卒業者と同様の「学士」の学位を取得することができます。

本科卒業後・専攻科修了後いずれにおいても、産業界や学術研究分野で国内国外を問わず活躍する道が開けています。進学については、高専専攻科や国公立等4年制大学3年次編入、大学院進学への道が開かれています。

なお、令和3年度の新1年生から、これまでの5学科体制（機械工学科、電気情報工学科、電子制御工学科、物質工学科、建築学科）を、1学科・5コース体制の「総合工学科」に再編し、機械システム、電気電子、情報システム、化学・バイオ、建築デザインの各工学分野の専門的な知識や技術に加え、各分野に共通する基礎知識と技術、語学力、コミュニケーション能力、一般教養を身に付けるとともに分野横断的な融合・複合能力を育む教育を行っています。

2 本校の目的

- ・米子工業高等専門学校は、教育基本法にのっとり、学校教育法に基づいて、深く専門の学芸を教授し、職業に必要な能力を育成することを目的とする。
- ・専攻科は、高等専門学校における教育の上に、精深な程度において工業に関する高度な専門的知識及び技術を教授研究し、もって広く産業の発展に寄与する創造性豊かな人材を育成することを目的とする。

3 本校の教育目標など

（1）教育理念

地域社会との連携と実践的な技術教育を重視し、豊かな感性と国際性を持ち、高度な専門知識を基盤に異分野の知識・技術を融合して、新たな社会的価値を創出することができる技術者を養成する。

（2）養成すべき人材像

本校では、上記の教育理念に基づき、次のような人材を養成することを目標にしています。

- 技術の基礎と実践的教養を身につけた人材
- 基盤となる専門分野を中心に、幅広い知識を複合させ、新たな価値を創出できる人材
- 地域や社会の特性を理解し、その発展に貢献できる人材
- 生涯にわたって意欲的に学習に取り組める人材
- 国際感覚と高い倫理観を持つ人材
- 他者と協調して創造的な活動ができる人材

(3) 学習・教育目標

本校では、上記の人材を養成するため、学生が身につけるべき能力として次の学習・教育目標を定めています。

- A 技術者としての基礎力
- B 持てる知識を使う応用力
- C 社会と自らを高める発展力
- D 地球の一員としての倫理力
- E 社会とかかわるためのコミュニケーション力

(4) 教育課程編成方針（カリキュラム・ポリシー）

本校では、上記の学習・教育目標を達成するため、次の方針に従って教育課程を編成しています。

- 人文・社会科学、自然科学、外国語等に関わる科目を全学年にわたって配置し、実践的教養を身につけさせる。
- コース横断型の科目を配置して、異分野の知識・技術を習得させる。
- 地域や社会への理解を促進する科目を配置して、課題発見・解決能力を養成する。
- 異文化理解や環境、技術者倫理に関する科目を配置して、国際感覚と倫理観を養成する。
- コース共通科目やチームを編成して行う実験・実習科目を配置して、コミュニケーション能力を養成する。
- コース専門科目を配置して、基盤となる専門分野の知識・技術を習得させる。

(5) 卒業認定方針（ディプロマ・ポリシー）

次に示す能力（教育目標に対応した達成目標）を身につけ、学則で定める修業年限以上在籍し、所定の単位を修得した学生に対し卒業を認定しています。（【 】内は、対応する学習・教育目標）

- 技術に関する基礎知識や実践的教養を有し、自らの専門分野に適用できる。【A】
- 基盤となる専門分野を中心に、幅広い知識を複合させ、新たな価値の創出や問題解決ができる。【B】
- 社会の課題を見つけることができ、その解決のために汎用的技能を適用できる。【C】
- 自身のありたい姿の実現のために目標を立てて行動を継続できる。【C】
- 高い倫理観と国際感覚を有し、技術者が社会に負っている責任感を踏まえて行動できる。【D】
- 他者の意見を尊重し、自身のアイデアを伝えながら、十分なコミュニケーションをとって共同作業を進めることができる。【E】

4 コース概要

(1) コース紹介

機械システムコース

機構、構造、材料などの運動や力学に関する知識・技術をベースに、電気電子工学、情報処理、コンピュータ及び人間工学や福祉工学の要素を取り入れ、ヒューマン・フレンドリーな機械システムを設計・開発できる実践的かつ創造的な技術者の養成を目標としています。

電気電子コース

電気エネルギーの発生・輸送・変換及びエレクトロニクスや情報通信に係わる基本技術を備え、これを効率的に利用するためのシステム設計、新材料開発などの周辺技術にも精通し、「人」を中心とする持続可能な社会を構築する視点から電気に関する幅広い技術を活用できる実践的かつ創造的な技術者の養成を目標としています。

情報システムコース

高度情報化社会を支えるコンピュータのハードウェア・ソフトウェア、組み込みシステムなどの基本技術をベースとし、医療や福祉の視点に立ったスマート社会を実現する情報システムを提案・構築できる実践的かつ創造的な技術者の養成を目標としています。

化学・バイオコース

物理化学、無機化学、有機化学、分析化学、生化学、化学工学などの基本知識を基盤とし、新しい材料開発や生体機能を応用する技術を身に付け、環境・食料・エネルギー・医療・福祉などの幅広い分野の問題解決に、柔軟な発想をもって取り組める実践的かつ創造的な技術者の養成を目標としています。

建築デザインコース

従来の構造系分野とデザイン系分野からなる技術と芸術の融合に加えて情報工学・人間工学・福祉工学の視点を備え、過疎化・高齢化・少子化という地方が抱える問題や、近年頻発している自然災害などへの対応に建築・デザインの技術や知識を活用できる実践的かつ創造的な技術者の養成を目標としています。

(2) 各コース共通の教養教育分野

教養教育は、専門教育を習得するための基礎的な能力を育成するとともに、社会人として必要な知識、技術を教授し、人格を形成し、教養を豊かにし、国際社会の中で活躍できる有為な人材を育てることを目標としています。

5 入学に伴う学費等

項 目		金 額	納 入 時 期
入 学 料		84,600円	入 学 手 続 前
授 業 料	前 期 分 (4～9月分)	117,300円	※1
	後 期 分 (10～3月分)	117,300円	※1
諸 費 用	制服代、教科書代、 体操服代、新入生オ リエンテーション 代、その他修学用品 代等	200,000円 程度	入 学 手 続 日 他
そ の 他	ノートパソコン	※2	※2

※１）１年生～３年生（在籍３６月まで）の間は、保護者（親権者）の所得等に応じた額の「高等学校等就学支援金」を受給できる予定です。

授業料の納入時期は原則前期は５月、後期は１０月中ですが、高等学校等就学支援金受給対象者の納入時期は就学支援金受給額決定後（９月以降）となる予定です。

なお、在学中に授業料の改定を行った場合には、改定時から新授業料を適用することとなります。

この他に、入寮に係る経費（８学生寮参照）、学生会費、後援会費、同窓会費等が必要です。

※２）米子高専では各自でノートパソコンを準備・持参していただき、授業や日常生活、災害等により遠隔授業を実施する際に活用しており、入学時にノートパソコンを各自でご準備いただくことになります。準備が困難な事情がある場合は本校より貸与を受けることも可能です。

6 奨学金制度

経済的理由により修学が困難な者については、日本学生支援機構貸与奨学金を始めとする、各種奨学金制度があります。

詳しくは、学生課学生係（0859-24-5023）へお尋ねください。

7 入学料免除制度

入学前１年以内において、入学する者の学資を主として負担している者が、死亡または風水害等の災害を受ける等入学料の納付が著しく困難であると認められる場合には、入学料の全額または半額を免除する制度があります。

また、経済的理由等で納付期限までに納付が困難であり、かつ学業成績優秀と認められる場合は、徴収の猶予が申請できます。

詳しくは、学生課学生係（0859-24-5023）へお尋ねください。

8 学生寮

遠隔地からの入学者のために、学生寮が設けられています。単なる宿泊施設としてではなく、集団生活を通して人間形成をめざす教育の場としての特徴をもっています。

学生寮の居室には、ベッド・学習机・椅子・本立て・ロッカー・衣装ケースが備え付けられています。施設としては、食堂・浴室・洗濯場等があり、そのほかに学習室・談話室・補食室・休養室及び集会室が設置されています。経費としては、寄宿料（月 700～800 円）、管理費（月 11,000 円）、食費（月約 33,000 円）、寮生会費（前期 3,500 円・後期 1,500 円）、入寮費（入寮時のみ 3,000 円）等が必要です。

入寮は、新入生を優先しています。２年目以降の入寮については更新制で、毎年継続審査があります。収容可能人数に限りがあるため、必ずしも入寮希望に添えない場合があります。

詳しくは、学生課寮務係（0859-24-5024）へお尋ねください。

検定料を郵便局（ゆうちょ銀行）から振り込む場合の注意点

検定料は郵便局（ゆうちょ銀行）からも振り込むことができますが、以下の条件を満たす必要がありますので、ご注意ください。

- 1) ゆうちょ銀行から他の金融機関への振込は口座からのみ可能で、現金による振込はできません。ご利用の際は、『通帳とお届け印』又は『キャッシュカード』が必要です。
- 2) ゆうちょ銀行から他の金融機関への振込は、募集要項に添付されている振込依頼書を使用することはできません。窓口でゆうちょ銀行の「振込依頼書（以下参照）」を受け取り、記入いただく必要があります。
- 3) 振込後は「振込依頼書（兼振替払出請求書〔電信扱い〕（お客さま控）」を受領し、「振込受付証明書 提出票」に貼って提出してください。
- 4) ATM（現金自動預払機）、インターネットバンキングからの振込はしないでください。

※ゆうちょ銀行専用の振込依頼書（サンプル）

8000034		振込依頼書（兼振替払出請求書）〔電信扱い〕		「ゆうちょ銀行」以外の銀行宛	
※本枠からはみ出さないようにボールペンではっきりとご記入ください。 ※印欄は、該当の項目にシ印をつけてください。 ▲ 両口座の場合は通帳に記載のある方のみご記入ください。					
ご依頼日		年 月 日		※料金は、振込金とは別に、払出口座の預り金からいただきます。 ※お受取人負担のお取扱いはできません。	
金融機関名	山陰合同		☒ 銀行 ☐ 信金 ☐ 信組 ☐ 農協 ☐ その他	支店名	米子 支店
お受取人	預金種目	☒ 普通 (総合) ☐ 2 当座 ☐ 口座番号 36580000	金額	十 萬 千 百 十 万 千 百 十 円 ¥16500	
おなまえ	フリガナ トリガナ コリガコウセンガッゴキコウケンブ スイトウメイレイヤジ ムキョウヂョウ 独立行政法人国立高等専門学校 機構本部出納命令役事務局長		※金額の頭に「¥」をご記入ください。		
おとこ		郵便番号 ()		振込金額 5万円未満 5万円以上 料金(消費税込) 648円 864円	
フリガナ		フリガナ		通知番号	
おなまえ		おなまえ		※お受取人様へ通知を希望される番号(最大10桁)がある場合 (お名前前に数字を入れる場合)に左詰めでご記入ください。	
ご依頼人	日中ご連絡先電話番号	記号		番号(左詰めでご記入ください)	
払出口座番号	おとこ		郵便番号 ()		お届け印
払出口座名義人(代理人)	おなまえ		おなまえ		様
科目	取扱年月日	取扱時間	取扱店番号	受払調整	代行店番号
請求種別	お受取人おなまえ		様		
払出口座番号	払出口座名義人ご住所		様		
振込金額	円 振込料金	円 (消費税等を含む。)			
合計金額	円 払出明細番号				
電話なし:1 カード:3 本・代・使 本・代・法 印 印 取 取 受 受					
OCR用 〒60000(27-1F) ゆうちょ銀行					